

舞鶴引揚記念館 2/27 レクチャーコンサートの詳細内容の決定 及び 再現楽器の展示と内覧会について

2月27日(日)に開催を予定しています『レクチャーコンサート「シベリア抑留の音楽・文化～記憶の継承へ～」』につきまして下記の通り、内容とコンサートの特別出演者について決まりましたのでお知らせいたします。また、レクチャーコンサートに合わせ、当時シベリア抑留の収容所で演奏された楽器を再現した「ラッパ付きヴァイオリン」を引揚記念館で展示することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

なお、講師からのメッセージ動画を引揚記念館のホームページから発信しています。ご覧いただければ幸いです。レクチャーコンサート当日は若い世代の方々にも抑留の歴史を身近に感じていただけるよう、バーチャル収容所体験ができるPCを設置致します。

◆レクチャーコンサート（講演と演奏会）

1. 日時 令和4年2月27日（日）14:00～15:30
2. 会場 舞鶴引揚記念館セミナールーム
3. 定員 40名(先着順)
4. 内容

講師からの
メッセージ→



「シベリア抑留とは」

講師：小林昭菜氏（多摩大学専任講師・政治学博士）

「シベリア抑留の音楽・文化」

講師・演奏：森谷理紗氏（桜美林大学非常勤講師・芸術学/音楽学博士）

曲名：「満州の丘にたちて」「異国の丘」「ドーフ小曲」など

〈特別出演者〉

- ・古川精一氏：二期会会員(ロシア東欧オペラ研究会会員)、バリトン歌手
- ・ズヴォリンスキー・レオニード氏：作曲家(ロシア)



←古川精一氏



←ズヴォリンスキー
・レオニード氏

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp



◆再現楽器の展示

1. 期 間 令和4年2月27日(日)～4月17日(日)
2. 会 場 舞鶴引揚記念館企画展示室
特別展示として、令和3年度第4回企画展の会場内で展示
3. 展示資料 ラッパ付きヴァイオリン



シベリア抑留下の音の鳴り響きを再現するために森谷氏による楽器再現プロジェクトにおいて制作。ロシアの公文書館に所蔵される写真や文書資料を分析し、日本人抑留体験者の手記や証言などを総合して形・素材・製法を検討した、日本、ロシア両国において初の試みとして再現(製作)されたものです。

4. 展示資料の解説(内覧会)

ラッパ付きヴァイオリンの展示に伴い、下記のとおり、研究者から抑留の歴史と音楽とのかわりについて解説を行いますので、お知らせします。

日時：令和4年2月26日(土)14:00～14:30

場所：舞鶴引揚記念館企画展示室

解説者：小林昭菜氏(多摩大学専任講師・政治学博士)

森谷理紗氏(桜美林大学非常勤講師・芸術学/音楽学博士)

《参考》

2月26日(土)は「語り部養成講座」の最終講義日・閉講式実施日となっております。養成講座も含めたご取材スケジュールは下記のとおりです。

《令和4年2月26日(土)ご取材スケジュール》

14:00～14:30 ラッパ付きヴァイオリン展示解説

14:30～15:35 語り部実践研修

15:40～16:00 閉講式(修了証書授与、市長挨拶等)

※語り部養成講座は13時から実施しております。

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370
E - M a i l : hikiage@city.maizuru.lg.jp

